

POSE 接点情報延長機能説明書

明京電機株式会社
2016/2/17

目次

1. はじめに.....	3
2. 接点延長機能について.....	3
3. 設定.....	3
3.1. 親機の設定.....	5
3.1.1. 基本設定.....	5
3.1.2. その他の設定.....	5
3.2. 子機の設定.....	6
3.2.1. 基本設定.....	6
3.2.2. その他の設定.....	6
3.3. タイムアウト制御.....	8
4. 接点制御方法.....	9
4.1. Web ブラウザによる子機接点制御.....	9
4.2. Web ブラウザによる親機接点制御(遠隔接点制御).....	10
4.3. 連動動作.....	11
4.3.1. 親機→子機.....	11
4.3.2. 子機→親機.....	11
5. 動作概要.....	12
5.1. 親機側動作.....	12
5.2. 子機側動作.....	12
5.3. タイムアウト制御.....	13
6. 変数一覧.....	14

1. はじめに

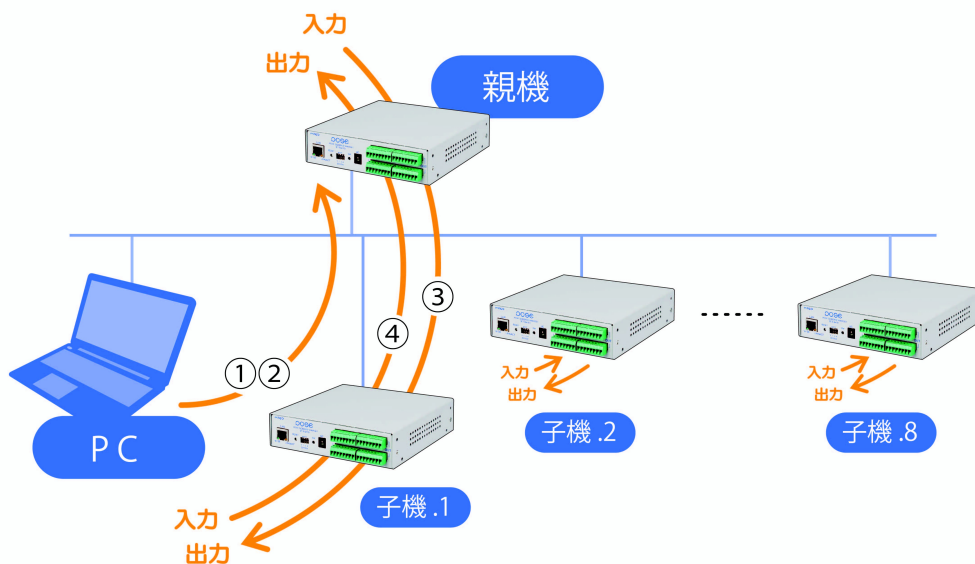
本書は、POSE SE10-8A7B1（以下、POSE と呼びます）の機能である “接点情報延長機能” について説明するものです。

POSE の取扱い方法の全般については、取扱説明書を参照してください。

2. 接点延長機能について

本機能は、POSE を 1 対 n 接続（親機 1 台、子機 最大 8 台）の構成でネットワークを介して接続することにより、以下のような遠隔操作や連動制御を行なうことができる機能です。

- ① 子機に接続した端末から、親機の接点入出力の状態を参照する
- ② 子機に接続した端末から、親機の接点出力を ON/OFF する
- ③ 親機の接点入力状態に連動して、子機の接点出力を ON/OFF させる
- ④ 子機の接点入力状態に連動して、親機の接点出力を ON/OFF させる



3. 設定

Web ブラウザから本機能に関わる設定を行なう画面は、以下のようになります。

〈基本設定〉 → 〈詳細設定〉 → 〈外部接続設定：連動設定〉 → 〈接点情報延長設定〉 画面

telnet やシリアル通信により、変数を直接制御することも可能です。変数については、6 章を参照してください。

接点情報延長設定

基本設定

詳細設定

セキュリティ設定

親機子機共通設定

機能 有効 無効
親機ポート番号

親機設定 (DIPスイッチ 全OFF)

機能

子機IPアドレス1	<input type="text"/>
子機IPアドレス2	<input type="text"/>
子機IPアドレス3	<input type="text"/>
子機IPアドレス4	<input type="text"/>
子機IPアドレス5	<input type="text"/>
子機IPアドレス6	<input type="text"/>
子機IPアドレス7	<input type="text"/>
子機IPアドレス8	<input type="text"/>
登録アドレス限定	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
遠隔接点入力状態変化確認回数	<input type="text" value="5"/> 回 x20ms

※ 親機子機共有設定の機能を「有効」にしてCPUリセットを実施すると以降WEBIによる操作はできなくなります。

子機設定 (DIPスイッチ No.2のみON)

親機側IPアドレス	<input type="text"/>
無通信監視時間	<input type="text" value="1440"/> 分
エラーコード	0 (正常)
遠隔接点入力状態変化通知マスク	<input type="text" value="11111111"/>
遠隔接点出力状態変更許可フラグ	1 2 3 4 5 6 7 8 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
遠隔接点入力1名称	<input type="text" value="Remote NV Input 1"/>
遠隔接点入力2名称	<input type="text" value="Remote NV Input 2"/>
遠隔接点入力3名称	<input type="text" value="Remote NV Input 3"/>
遠隔接点入力4名称	<input type="text" value="Remote NV Input 4"/>
遠隔接点入力5名称	<input type="text" value="Remote NV Input 5"/>
遠隔接点入力6名称	<input type="text" value="Remote NV Input 6"/>
遠隔接点入力7名称	<input type="text" value="Remote NV Input 7"/>
遠隔接点入力8名称	<input type="text" value="Remote NV Input 8"/>
遠隔接点出力1名称	<input type="text" value="Remote NV Output 1"/>
遠隔接点出力2名称	<input type="text" value="Remote NV Output 2"/>
遠隔接点出力3名称	<input type="text" value="Remote NV Output 3"/>
遠隔接点出力4名称	<input type="text" value="Remote NV Output 4"/>
遠隔接点出力5名称	<input type="text" value="Remote NV Output 5"/>
遠隔接点出力6名称	<input type="text" value="Remote NV Output 6"/>
遠隔接点出力7名称	<input type="text" value="Remote NV Output 7"/>
遠隔接点出力8名称	<input type="text" value="Remote NV Output 8"/>
接点入出力連動許可	親機 > 子機
親機/子機間通信死活監視の有効化	keep-alive
親機/子機間通信タイムアウト時間	<input type="text" value="60"/> 秒
親機/子機間通信keep-aliveパケット送信間隔	<input type="text" value="20"/> 秒
親機/子機間通信keep-aliveパケット再送信回数	<input type="text" value="3"/>
メール通知設定フラグ 遠隔接点入力	1 2 3 4 5 6 7 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
メール通知設定フラグ 遠隔接点出力	1 2 3 4 5 6 7 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
遠隔接点入力状態変化の種類別メール通知可否設定	ALL
本機(※)接点入力状態変化の種類別メール通知可否設定	ALL

※ この設定は本機を単体で使用(接点情報延長を無効)時にも有効です。

適用

リセット

3.1. 親機の設定

3.1.1. 基本設定

POSE を親機として動作させるためには、以下の設定を行ってから、**本体前面にある DIP スイッチを全て OFF**にした状態で再起動をしてください。なお、親機として動作するようになった後は Web ブラウザによる設定や操作ができなくなりますので、ご注意ください。（telnet やシリアル通信による設定や操作は可能です。）

設定項目	概要
[機能] ※ 共通設定側にあります	本機能の有効・無効を設定します。
[親機ポート番号] ※ 共通設定側にあります	親機・子機間にて通信するために使用するポート番号を設定します。子機と共通の値に設定してください。
[登録アドレス限定]	子機の IP アドレスを限定するか否かを設定します。 <ul style="list-style-type: none">限定する場合は、[子機 IP アドレス 1～8]に IP アドレスを設定します。限定しない場合も、一度に接続できる子機の数 は最大 8 台となります。
[子機 IP アドレス 1～8]	子機の IP アドレスを設定します。本設定は、[登録アドレス限定] を有効にした場合にのみ使用されます。

3.1.2. その他の設定

必要に応じて以下の設定をしてください。

設定項目	概要
[遠隔接点入力状態 変化確定回数]	接点入力状態を確定するための条件を設定します。 20[msec] 間隔で、設定された回数分 連続して 'H' もしくは 'L' を検出した場合に、接点入力状態を確定します。 <ul style="list-style-type: none">1～999 を指定可能初期値は 5
[遠隔接点入力状態 変化通知マスク] ※ 子機設定側にあります	接点入力状態の変化を検出した時に、状態変化を子機に通知する接点番号を選択します。 <ul style="list-style-type: none">mmmmmmmm : 左側から接点 1～8, m = 0:OFF、1:ON初期値は “11111111” <p>※子機側で、親機からの状態変化通知のうち、どの接点番号について確認するかを選択させることもできます。</p>

3.2. 子機の設定

3.2.1. 基本設定

POSE を子機として動作させるためには、以下の設定をしてから、本体前面にある DIP スイッチをスイッチ 2 のみ ONにした状態で再起動をしてください。なお、子機として動作している間も、WEB ブラウザによる操作や設定は可能です。

設定項目	概要
[機能] ※ 共通設定側にあります	本機能の有効・無効を設定します。
[親機ポート番号] ※ 共通設定側にあります	親機・子機間にて通信するために使用するポート番号を設定します。親機と共通の値に設定してください。
[親機側 IP アドレス]	親機の IP アドレスを設定します。

3.2.2. その他の設定

必要に応じて以下の設定をしてください。

設定項目	概要
[遠隔接点入力状態 変化通知マスク]	親機からの接点入力状態変化通知のうち、確認する接点番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• mmmmmmmm : 左側から接点 1~8, m = 0: OFF、1: ON• 初期値は “11111111”
[遠隔接点出力状態 変更許可フラグ]	親機の接点出力のうち、子機からの操作を可能とする接点番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 左側から接点 1~8• 初期値は全接点 ON
[遠隔接点入力 1-8 名称] [遠隔接点出力 1-8 名称]	親機の接点入力、出力に名前を付けます。Web ブラウザ画面やメール通知などで各接点を名前で確認することができます。 <ul style="list-style-type: none">• 全角 10 文字、半角英数字 20 文字以内• 初期値は “Remote NV Input #”、“Remote NV Output #” (# は、1~8)

[接点入出力連動許可]	<p>親機・子機間の接点入出力を連動させるモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “禁止” : 連動させない ● “親機→子機” : 親機の接点入力状態に連動して、子機の接点出力を ON/OFF させる (初期値) ● “子機→親機” : 子機の接点入力状態に連動して、親機の接点出力を ON/OFF させる ● “双方” : 親機→子機、子機→親機双方の連動を許可する
[メール通知設定フラグ 遠隔接点入力]	<p>親機からの接点入力状態の変化通知に連動して、チェックした通知先メールアドレス宛てにメール通知を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 左側から通知先メールアドレス 1~8 ● 初期値は全て OFF <p>※通知先メールアドレスの設定は、Web ブラウザから〈通信設定〉→〈メール設定〉画面にて行ないます。</p>
[メール通知設定フラグ 遠隔接点出力]	<p>親機の接点出力の遠隔操作に連動して、チェックした通知先メールアドレス宛てにメール通知を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 左側から通知先メールアドレス 1~8 ● 初期値は全て OFF <p>※通知先メールアドレスの設定は、Web ブラウザから〈通信設定〉→〈メール設定〉画面にて行ないます。</p>
[遠隔接点入力状態変化の 種類別 メール通知可否設定]	<p>親機の接点入力状態の変化の種類 (ON/OFF) に応じて、メール通知する/しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “無効” : 通知しない ● “OFF” : OFF 時にのみ通知する ● “ON” : ON 時にのみ通知する ● “ALL” : OFF/ON 両方で通知する (初期値)
[本機接点入力状態変化の 種類別 メール通知可否設定]	<p>子機の接点入力状態の変化の種類 (ON/OFF) に応じて、メール通知する/しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “無効” : 通知しない ● “OFF” : OFF 時にのみ通知する ● “ON” : ON 時にのみ通知する ● “ALL” : OFF/ON 両方で通知する (初期値)

3.3. タイムアウト制御

以下の設定を行ないます。（すべての項目は子機設定側に含まれています。）

設定項目	概要
[親機/子機間通信 死活監視の有効化]	死活監視機能の有効化、あるいは無効化を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• “無効” : コマンドレベルの無通信タイマーにて監視• “keep-alive” : keep-alive パケット送信にて監視 (初期値)• “無通信タイマー” : パケットレベルの無通信タイマーにて監視
[無通信監視時間]	コマンドレベルの無通信タイマータイムアウト時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 単位 : 分• 0~1440を指定可能、0は監視しない• 初期値は 1440
[親機/子機間通信 タイムアウト時間]	パケットレベルの死活監視のタイムアウト値を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 単位 : 秒• 60~3600を指定可能。• 初期値は 60
[親機/子機間通信 keep-alive パケット送信間隔]	keep-alive パケットの送出間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 単位 : 秒• 20~60を指定可能。• 初期値は 20
[親機/子機間通信 keep-alive パケット再送信回数]	keep-alive パケットの応答が無い場合の最大リトライ回数を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 0~10を指定可能• 初期値は 3

4. 接点制御方法

子機に接続した端末から Web ブラウザを使って接点制御を行なうことができます。

また、親機の接点入力の状態に子機の接点出力を連動させる、もしくは子機の接点入力の状態に親機の接点出力を連動させることができます。

4.1. Web ブラウザによる子機接点制御

子機の接点制御は、Web ブラウザから〈接点出力制御〉→〈接点制御〉画面にて行ないます。これは、接点情報延長機能を使用していないときと同様です。（親機には、接続した端末から Web ブラウザによる制御は行なえません。）

接点制御 更新

接点制御 仮想アウトレット制御 逐個接点制御

接点制御情報

No.	接点制御名称	制御	接点
1	NV Output1	接点ON 接点OFF	OFF
2	NV Output2	接点ON 接点OFF	OFF
3	NV Output3	接点ON 接点OFF	OFF
4	NV Output4	接点ON 接点OFF	OFF
5	NV Output5	接点ON 接点OFF	OFF
6	NV Output6	接点ON 接点OFF	OFF
7	NV Output7	接点ON 接点OFF	OFF
8B	NV Output8	接点ON 接点OFF	OFF

全接点制御

12345678	12345678	12345678
11111111	11111111	11111111
接点ON	接点OFF	接点設定

1=動 0=無

接点入力情報

No.	名称	接点
1	NV Input1	OFF
2	NV Input2	OFF
3	NV Input3	OFF
4	NV Input4	OFF
5	NV Input5	OFF
6	NV Input6	OFF
7	NV Input7	OFF
8	NV Input8	OFF

機器情報

機器名称 NoName

4.2. Web ブラウザによる親機接点制御(遠隔接点制御)

子機から親機の接点出力制御は、Web ブラウザから〈接点出力制御〉→〈遠隔接点制御〉画面にて行ないます。制御可能な接点出力番号は、[遠隔接点出力状態 変更許可フラグ]にて制限されます。

同じ〈遠隔接点制御〉画面にて、親機の接点入力状態を参照できます。

遠隔接点制御

更新

接点制御 仮想アウトレット制御 遠隔接点制御OUT

遠隔接点制御情報

No.	名称	制御	接点
1	Remote NV Output 1	接点ON 接点OFF	OFF
2	Remote NV Output 2	接点ON 接点OFF	OFF
3	Remote NV Output 3	接点ON 接点OFF	OFF
4	Remote NV Output 4	接点ON 接点OFF	OFF
5	Remote NV Output 5	接点ON 接点OFF	OFF
6	Remote NV Output 6	接点ON 接点OFF	OFF
7	Remote NV Output 7	接点ON 接点OFF	OFF
8B	Remote NV Output 8	接点ON 接点OFF	OFF

遠隔接点入力情報

No.	名称	接点
1	Remote NV Input 1	OFF
2	Remote NV Input 2	OFF
3	Remote NV Input 3	OFF
4	Remote NV Input 4	OFF
5	Remote NV Input 5	OFF
6	Remote NV Input 6	OFF
7	Remote NV Input 7	OFF
8	Remote NV Input 8	ON

機器情報

機器名称 NoName

4.3. 連動動作

〈接点情報延長設定〉画面の [接点入出力連動許可] 設定にて、以下のような連動動作を許可します。

4.3.1. 親機→子機

親機の接点入力状態に連動して、子機の接点出力を ON/OFF させます。たとえば、親機の接点入力#1 が OFF から ON に変わった場合に子機の接点出力#1 を OFF から ON にすることができます。

子機ごとに [遠隔接点入力状態変化通知マスク] を使用して、親機のどの接点入力番号と連動させるかを設定することが可能です。たとえば、子機#1 は 接点入力#1、子機#2 は接点入力#2 と連動する、という様にすることができます。

(例)

	[遠隔接点入力状態 変化通知マスク]	連動動作
子機#1	10000000	親機の接点入力#1 に 接点出力#1 を連動
子機#2	01000000	親機の接点入力#2 に 接点出力#2 を連動

4.3.2. 子機→親機

子機の接点入力状態に連動して、親機の接点出力を ON/OFF させます。

たとえば、子機の接点入力#1 が OFF から ON に変わった場合に親機の接点出力#1 を OFF から ON にすることができます。この場合、接点番号をマスクする設定はありません。実際の接続形態によって、どの接点出力・入力を連動させるかが決定されます。

5. 動作概要

5.1. 親機側動作

- 1) 起動後、設定された TCP ポートを開き、子機からの接続を待ちます。
- 2) 子機の IP アドレスを限定している場合は、登録した IP アドレスを持つ子機からの接続のみを受け付けます。
- 3) 20 [msec] ごとに接点入力の状態を監視します。指定された回数(初期値は 5 回)以上 'H' または 'L' を連続して検出したならば、その状態になったものとみなします。
- 4) 接点入力状態の変化を検出したならば、子機に対して状態変化を通知します。

注意事項:

- 親機内部で接点入力に接点出力を連動させる機能は無効となります。

5.2. 子機側動作

- 1) 起動後、設定された親機 IP アドレスに対して、設定された TCP ポートを使って接続を試みます。接続に失敗したときは 1 秒おきに 3 回まで再接続を試みます。それでも失敗した場合は「接続エラー」のログを残します。
それ以降は 5 秒おきに再接続を試みますが、このときの接続失敗はログには残しません。
再接続できた場合は、「接続回復」のログを残します。
- 2) 接続直後、親機に対して接点状態問い合わせコマンドを送り、親機の接点状態を取得します。
- 3) 接続中は、任意のタイミングで親機にコマンドを送り、接点出力の操作し、接点状態の取得することができます。
- 4) 親機から接点入力の状態変化通知を受け取ります。
子機側で状態の変化を確認できた場合、親機→子機の連動が許可されているならば、対応する自身の接点出力を ON/OFF します。
- 5) 子機→親機の連動が許可されているならば、自身の接点入力の状態変化に応じて、対応する親機の接点出力を ON/OFF させるコマンドを親機に送ります。
- 6) 親機にコマンドを送った後、1 秒経過した後もレスポンスが返ってこない場合、通信に障害が発生したと判断し、接続を一度切断して再接続を試みます。その際、「親機応答なし」のログを残します。
- 7) 親機の接点入力の状態変化を検知したとき、および親機の接点出力の状態を変化させたときは、設定にしたがって SNMP TRAP やメール通知による通知を行いません。

注意事項:

- 親機→子機の連動が許可されている場合、自身の接点出力を telnet やシリアル通信、web ダイレクトなどのコマンドによって ON/OFF させることができなくなります。
- 子機内部で接点入力に接点出力を連動させる機能は無効となります。
- 子機は親機側の接点出力の動作モードがレベルになっているかパルスになっているかは関知しません。(必要に応じて、事前に親機側で設定してください。)

5.3. タイムアウト制御

1. コマンドレベルの無通信タイマー監視
 - 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を“無効”の状態、[無通信監視時間] にゼロ以外の値を設定した場合、親機はコマンドレベルで無通信状態の監視を行いません。
 - 2) [無通信監視時間] で設定された時間が経過しても子機から有効なコマンドが送信されてこない場合、親機は接続を切断し、再接続を行いません。
2. keep-alive パケット送信による死活監視
 - 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を“keep-alive”に設定した場合、keep-alive パケット送信にて監視を行いません。
 - 2) [親機/子機間通信 タイムアウト時間] で設定された時間が経過しても TCP パケットの受信がない場合、keep-alive パケットの送信を始めます。
 - 3) keep-alive パケット送出後、[親機/子機間通信 keep-alive パケット送信間隔] で設定された時間が経過しても送出した keep-alive パケットに対する ACK パケットが受信できない場合、keep-alive パケットを再送信します。
 - 4) [親機/子機間通信 keep-alive パケット再送信回数] で設定された回数だけ keep-alive パケットの再送信を行っても ACK パケットの受信が確認できない場合、接続を切断し、再接続を行いません。
3. パケットレベルの無通信タイマー監視
 - 1) [親機/子機間通信 死活監視の有効化] を“無通信タイマー”に設定した場合、パケットレベルの無通信タイマーにて監視を行いません。
 - 2) [親機/子機間通信 タイムアウト時間] で設定された時間が経過しても TCP パケットの受信がない場合、接続を切断し、再接続を行いません。

6. 変数一覧

本機能に関わる変数を以下に示します。その他の変数については、取扱説明書を参照してください。

変数名	内容	W/R	型	値の範囲/意味	初期値
remConEnabled	機能の有効化	W/R	BOOL	0:無効 1:有効	1
remConPort	親機ポート番号	W/R	INT		0
ipAdRemCon	子機 IP アドレス	W/R	IP 配列 (要素数 8)	※左から子機 1~8	
remConAddrLimit	登録アドレス限定	W/R	BOOL	0:無効 1:有効	0
remConChkCount	親機側接点入力状態 変化監視回数	W/R	INT	1~999	5
ipAdRemConServer	親機側 IP アドレス	W/R	IP		
remConIdleTime	無通信監視時間 (単位: 分)	W/R	INT	0~1440 0:監視しない	0
remConErrCode	エラーコード	R	INT	1:コマンドコード不正 2:コマンド長不正	
remConInMask	親機側接点入力 状態変化通知マスク	W/R	INT	0:通知しない 1:通知する ※最下位ビットから順 に接点入力 1,2,3...8 に対応する	255
remConInMaskAr	親機側接点入力 状態変化通知マスク	R	BOOL 配列 (要素数 8)	0:通知しない 1:通知する ※左から接点 1~8	
remConInStatus	親機側接点入力状態	R	BOOL 配列 (要素数 8)	0:OFF 1:ON ※左から接点 1~8	
remConOutStatus	親機側接点出力状態	R	BOOL 配列 (要素数 8)	0:OFF 1:ON ※左から接点 1~8	
remConInChangeMask	親機側接点入力 状態変化通知フラグ	R	BOOL 配列 (要素数 8)	'1'になっているところが 変化した箇所 ※左から接点 1~8	
remConOutChangeMask	親機側接点出力 状態変更許可フラグ	W/R	BOOL 配列 (要素数 8)	'1'になっているところが ON/OFF 可能 ※左から接点 1~8	1,1,1,1,1,1,1,1
remConInName	親機側接点入力名称	W/R	文字列配列 (要素数 8)	最大半角 20 文字	Remote NV Input # (#: 1~8)

変数名	内容	W/R	型	値の範囲/意味	初期値
remConOutName	親機側接点出力名称	W/R	文字列配列 (要素数 8)	最大半角 20 文字	Remote NV Output # (#: 1~8)
remConLinkEnabled	接点入出力連動許可	W/R	INT	0:連動禁止 1:子機入力⇒ 親機出力のみ可 2:親機入力⇒ 子機出力のみ可 3:子機入力⇒ 親機出力/ 親機入力⇒ 子機出力とも可	1
remConWatchEnabled	親機/子機間通信 死活監視の有効化	W/R	INT	0:無効 1:有効(keep-alive) 2:有効 (無通信タイマー)	1
remConTimeout	親機/子機間通信 タイムアウト時間 (単位: 秒)	W/R	INT	60~3600	60
remConKAInterval	親機/子機間通信 keep-alive パケット送信 間隔 (単位: 秒)	W/R	INT	20~60	20
remConKARetry	親機/子機間通信 keep-alive パケット 再送信回数	W/R	INT	0~10	3
mailRemconInInfoFlag	メール通知設定フラグ 親機側接点入力	W/R	BOOL 配列 (要素数 8)	0:通知する 1:通知しない ※左からメール通知先 アドレス 1~8	0,0,0,0,0,0,0,0
mailRemconOutInfoFlag	メール通知設定フラグ 親機側接点入力	W/R	BOOL 配列 (要素数 8)	0:通知する 1:通知しない ※左からメール通知先 アドレス 1~8	0,0,0,0,0,0,0,0
mailRemconInEventFlag	親機接点入力状態の 種類別 メール通知可否設定	W/R	INT	0:通知しない 1:OFFのみ通知 2:ONのみ通知 3:ON/OFFとも通知	3
mailNvInEventFlag	本機(子機)接点入力 状態の種類別 メール通知可否設定	W/R	INT	0:通知しない 1:OFFのみ通知 2:ONのみ通知 3:ON/OFFとも通知	3